



The Institute of Electronics, Information and Communication Engineers

電子情報通信学会 特別号 April 2013

情報・システムソサイエティ誌

IEICE INFORMATION AND SYSTEMS SOCIETY JOURNAL

平成 25 年度ソサイエティ活動

情報・システムソサイエティ次期会長
村瀬 洋
名古屋大学



情報・システムソサイエティ(ISS)は、コンピュータによる情報処理技術やコンピュータ・通信・人間を融合したシステム化技術に関する研究分野の活性化を支援しています。本ソサイエティの役割は、会員に研究発表と交流の場を提供するとともに、社会と技術分野の持続的な発展に貢献することにあります。平成 25 年度は、ISS が同研究分野の日本での中心的活動母体となるように、下記に重点を置いて活動を展開していきたいと思ひます。

(1) 研究会活動の活性化と、情報共有の方策の検討

研究会活動や研究専門委員会活動はソサイエティ活動の中核を担っていて、その活性化は極めて重要です。また技術の急速な発展に伴い、専門分野間の重なりや距離感も変化しています。そこで、ISS 内での各研究会活動の見える化、および研究会間での情報共有が可能な方策や、研究専門委員会、技術会議、運営幹事団との連携を深め、相互に支援できる体制を検討します。

(2) ソサイエティ誌の充実

ソサイエティ誌は平成8年度創刊以来、ソサイエティの活動と技術分野の動向を会員に提供することを使命としてきました。ISS の各研究専門分野を横断的に活性化させるコンテンツの充実や、研究者の独自活動を紹介するコンテンツの充実を図ります。ソサイエティ誌の電子化による提供の可能性も検討します。

(3) 論文誌の質を向上させる仕組みの検討

論文誌の質を向上させるための更なる仕組みづくりが必要です。英文論文誌については、平成 23 年度から検討ワーキングを立ち上げ、インパクトファクタ向上策、電子ジャーナルの可能性などについて検討しています。平

成 25 年度は、特集号の電子公開のトライアルとその効果の評価、特集号やサーベイ論文を充実させるための研究会との連携について検討します。和文論文誌については、学生論文特集号やシステム開発論文の継続を行うと共に、サーベイ論文や解説論文の充実や、新たに論文の査読方法の改善についても検討を開始します。

(4) 会員サービス充実と会員数増加施策

平成 24 年度から着手している日本語・英語ホームページ更改を継続し、研究会の活動の一般会員への情報発信や、グローバルな会員への情報発信を強化し、会員サービス・会員数増強につなげたいと思ひます。

(5) 技報電子化の推進と大会原稿電子化の検討

研究会活動の見える化を促進するために、技報の電子化を早期に実現したいと思ひます。今年度は電子化のトライアル運用を開始しアンケート調査などを行います。また論文の横断検索システムである I-Scorer との連携を深め、ISS の技報、大会論文、論文誌の論文等への会員からのアクセスについて一層の便宜を図ります。

(6) ISS の運営体制の強化

平成 23 年度から開始している運営幹事会(会長、次期会長、各副会長、庶務幹事、和文論文誌・英文論文誌・ソサイエティ誌の各編集委員長が参加)を発展的に継続し、運営方針や特定の施策に的を絞った議論を電子会議など積極的に活用することにより行い、ISS の運営体制の強化を図ります。

情報・システムソサイエティ(ISS)では、以上の活動を考えていますので、会員の皆様や、各研究専門委員会のご協力とご理解を、宜しくお願ひいたします。

情報・システムソサイエティ誌とは？

情報・システムソサイエティが 1996 年度より年 4 回発行しているソサイエティ会員向けの情報誌です。

内容は、ソサイエティからのお知らせ、研究専門委員会の動向、研究室紹介、フェローの方々による寄稿、連載コラムなど、会員の皆様の役に立つ情報を満載しております。

特に、毎号の巻頭言には、電子情報通信分野の著

者の方々から寄稿を頂き、好評を博しております。今後も学生や企業の方などより幅広い方々に役立てて頂けるよう、ますます内容の充実を図る予定です。

情報・システムソサイエティ誌は、情報・システムソサイエティに登録をすれば自動的に送付されます。以下でも更に詳しく御紹介します。

ISS 達人へのステップ 1

情報・システムソサイエティ (ISS) への登録を

電子情報通信学会では 1995 年 4 月よりソサイエティ制になり、会員はいずれかのソサイエティに属することになっています。

これから学会に入会される方はもちろん、複数のソサイエティへの登録を希望される方も、ぜひ ISS に御登録下さい。なお、複数に登録する場合の ISS ソサイエティ

誌及びオンラインジャーナル購読の追加登録料は 3,500 円(学生は 2,000 円)です。ISS への追加登録を御希望の方は、早急に下記の様式で御連絡下さい。

購読のほかにも ISS の様々な特典が利用できます。また、ISS 論文誌(冊子体)を購読する場合はステップ 2 を参照して下さい。

ISS 達人へのステップ 2

情報・システムソサイエティ (ISS) の論文誌は和英 2 種類

基本登録ではオンラインジャーナル(和・英論文誌)の閲覧が可能です。

また、論文誌はオンライン版以外に冊子体でも購読することができます。購読料は 1 誌目は、4,000 円、2 誌目は 10,000 円です。バックナンバーの定価より格安で購

読できます。

追加購読を御希望の方は早急に下記の様式で御連絡下さい。

なお、和文論文誌 D 及び英文論文誌 ED のキーワードは下記のとおりです。

キーワード：

情報・システム基礎／計算機システム／ソフトウェアシステム／ソフトウェア工学／データ工学、Web 情報システム／情報ネットワーク／ディペンダブルコンピューティング／人工知能、データマイニング／ヒューマンコンピュータインタラクション／オフィスインフォメーションシステム、e-ビジネスモデリング／教育工学／福祉工学

パターン認識／音声、聴覚／画像・映像処理／画像認識、コンピュータビジョン／コンピュータグラフィックス／マルチメディア処理／自然言語処理／バイオサイバネティクス、ニューロコンピューティング／生体工学／音楽情報処理／感性情報処理

連絡先： E-mail: service@ieice.org Phone: 03-3433-6691 Fax: 03-3433-6659

名前 (会員番号)

所属

連絡先 〒

Phone:

Fax:

E-mail:

ISS ソサイエティ追加 (オンラインジャーナルとソサイエティ誌)

論文誌 (冊子体) 購読追加 (和文論文誌 D 英文論文誌 ED)

*なお、各誌の送付は登録処理後からとなります。バックナンバーの送付は致しません。

ISS 達人へのステップ 3

情報・システムサイエティ (ISS) 所属研究会の年間登録を

ISS には下記の 23 の第一種研究会があり、年間数回の研究会にあわせその技術研究報告書が出版されています。年間登録を行うと各回の技術研究報告書が送付され、毎回会場で購入するよりも安価になります。ぜひ御登録をお薦めします。本会ホームページ (<http://www.ieice.org/jpn/books/kenkyuuhokoku.html>) より御登録下さい。

なお、各研究会の研究分野の詳細については <http://www.ieice.org/jpn/kensenmon4.html> を御覧下さい。

研究会(記号)	予約価(円)	委員長/副委員長
ME とバイオサイバネティクス MBE	11,865	小池 康晴(東工大) 中尾 光之(東北大)
ライフインテリジェンスとオフィス情報システム LOIS	11,550	若原 俊彦(福岡工大) 岡本 学(NTT)
画像工学 IE	13,335	如澤 裕尚(NTT) 井口 和久(NHK), 藤井 俊彰(名大)
言語理解とコミュニケーション NLC	3,465	山本 和英(長岡技科大) 竹内 孔一(岡山大), 増市 博(富士ゼロックス)
コンピュータシステム CPSY	9,450	天野 英晴(慶大) 安里 彰(富士通), 吉永 努(電通大)
コンピューテーション COMP	9,975	今井 桂子 (中大) 伊藤 大雄(電通大)
人工知能と知識処理 AI	4,095	栗原 聡(阪大) 菅原 俊治(早大), 松原 繁夫(京大)
ソフトウェアサイエンス SS	8,715	中島 震(NII) 結縁 祥治(名大)
データ工学 DE	4,410	中野 美由紀(東大) 森嶋 厚行(筑波大), 木俣 豊(NICT)
パターン認識・メディア理解 PRMU	12,390	山田 敬嗣(NEC) 柏野 邦夫(NTT), 大町 真一郎(東北大)
ディペンダブルコンピューティング DC	12,180	梶原 誠司(九工大) 金川 信康(日立)
ニューロコンピューティング NC	14,700	西井 淳(山口大) 古川 徹生(九工大)
知能ソフトウェア工学 KBSE	8,820	松浦 佐江子(芝浦工大) 飯島 正(慶大)
音声 SP	10,605	速水 悟(岐阜大) 河井 恒(KDDI 研究所)
教育工学 ET	6,825	中村 直人(千葉工大) 小西 達裕(静岡大)
医用画像 MI	17,430	佐藤 嘉伸(阪大) 清水 昭伸(東京農工大), 森 健策(名大)
ソフトウェアインタプライズモデリング SWIM	5,040	堀米 明(フジオ) 野地 保(東海大)
リコンフィギュラブルシステム RECONF	8,190	安永 守利(筑波大) 渡邊 実(静岡大), 京 昭倫(ルネサスエレクトロニクス)
情報通信システムセキュリティ ICSS	11,865	森井 昌克(神戸大) 菊池 浩明(東海大), 盛合 志帆(ソニー)
情報論的学習理論と機械学習 IBISML	9,975	上田 修功(NTT) 鷺尾 隆(阪大), 樋口 知之(統計数理研)
マルチメディア情報ハイディング・エンリッチメント EMM	14,805	馬場口 登(阪大) 西村 明(東京情報大), 新見 道治(九工大)
クラウドネットワークロボット CNR	11,865	安西 祐一郎(慶大) 土井 美和子(東芝), 萩田 紀博(ATR)
サービスコンピューティング SC	5,880	村上 陽平(NICT) 石川 冬樹(NII)

FIT2013 第12回情報科学技術フォーラム 査読付き論文・一般論文 発表募集案内

【会期】2013年9月4日(水)～6日(金)
【会場】鳥取大学(鳥取市湖山町南4-101)



FIT2013 Web ページ <http://www.ipsj.or.jp/event/fit/FIT2013/>

FIT 査読付き論文受付期間: 2013年3月6日(水)～4月17日(水)
FIT 一般論文 受付期間: 2013年4月24日(水)～5月23日(木)

電子情報通信学会 情報・システムサイエティは、本学会のヒューマンコミュニケーショングループならびに情報処理学会と2002年から合同で毎年秋季に、「情報科学技術フォーラム(FIT: Forum on Information Technology)」を開催しており、2013年9月に第12回目を鳥取大学で開催します。

論文の種類には、「FIT 査読付き論文」と「FIT 一般論文」がございます。「FIT 査読付き論文」の中から、船井ベストペーパー賞、FIT 論文賞を選定し、表彰します。また、論文の種類に関わらず、若手研究者を対象に優れた発表を選定し、FIT ヤングリサーチャー賞として表彰します。これらの賞に加え、今回の FIT より FIT 奨励賞を新たに創設致しました。

また、FIT2009 より「FIT 査読付き論文」について優秀な論文を電子情報通信学会または情報処理学会の論文誌へ推薦する制度を設けました。最大ページ数を論文誌(フルペーパー)と同等の8ページ程度まで広げて、「FIT 査読付き論文」の申込と併せて「論文誌への推薦希望」も受付致します。みなさま是非ともチャレンジして下さい。

〔FIT 論文表彰制度〕

船井ベストペーパー賞	FIT 査読付き論文の中から、FIT 学術賞選定委員会の論文審査に基づき選ばれます(3件程度)。賞金は20万円です。
FIT 論文賞	FIT 査読付き論文の中から、FIT 学術賞選定委員会の論文審査に基づき選ばれます(7件程度)。賞金は5万円です。
FIT ヤングリサーチャー賞	FIT 開催年の12月31日現在で33歳未満の講演者(FIT 査読付き論文及び FIT 一般論文)の中から、特に優れた発表をされた方が選ばれます。賞金は3万円です。
FIT 奨励賞	一般発表のセッション毎に座長の裁量で優秀な発表を1件その場で選定します(該当なしもあり)。受賞者には、FIT 終了後に賞状を FIT 運営委員会より贈呈します。

多彩なイベントが企画され広範な分野の研究者が一堂に会する本フォーラムは、皆様にすばらしい研究成果発表の場を提供いたします。奮って御応募下さい。

○● 電子情報通信学会 情報・システムサイエティ誌編集委員会 ●○

- 副会長(編集会議担当) 井宮 淳(千葉大 imiya@faculty.chiba-u.jp)
- 編集委員長 松井 知子(統数研 tmatsui@ism.ac.jp)
- 編集幹事 山川 宏(富士通研 ymkw@jp.fujitsu.com)
- 特任編集幹事 宮崎 修一(京大 shuichi@media.kyoto-u.ac.jp)
- 英文論文誌編集副委員長 菅谷 史昭(KDDI 研 fsugaya@kddilabs.jp)
- 英文論文誌編集幹事 西脇 大輔(NEC d_nishiwaki@da.jp.nec.com)
- 英文論文誌編集幹事 児玉 和也(NII kazuya@nii.ac.jp)
- 英文論文誌編集幹事 松居 辰則(早大 matsui-t@waseda.jp)
- 英文論文誌編集幹事 門田 啓(NEC a-monden@bk.jp.nec.com)
- 企画広報幹事 宮野 博義(NEC h-miyano@cq.jp.nec.com)
- 和文論文誌編集副委員長 峯松 信明(東大 mine@gavo.t.u-tokyo.ac.jp)
- 英文論文誌編集幹事 大町 真一郎(東北大 machi@ceei.tohoku.ac.jp)
- 編集委員 吉野 公三(産総研 yoshino-k@aist.go.jp)
- 英文論文誌編集幹事 江崎 喬(ECSEC Laboratory ezaki@ecsec.jp)
- 英文論文誌編集幹事 内藤 整(KDDI 研 sei@kddilabs.jp)
- 英文論文誌編集幹事 増市 博(富士ゼロックス hiroshi.masuichi@fujixeroc.co.jp)
- 英文論文誌編集幹事 入江 英嗣(電通大 irie@is.uec.ac.jp)
- 英文論文誌編集幹事 斎藤 寿樹(神戸大 saitoh@eedept.kobe-u.ac.jp)
- 英文論文誌編集幹事 藤田 茂(千葉工大 fujita@cs.it-chiba.ac.jp)
- 英文論文誌編集幹事 鷺崎 弘宜(早大 washizaki@waseda.jp)
- 英文論文誌編集幹事 林 良一(NTT hayashi.ryoichi@lab.ntt.co.jp)
- 英文論文誌編集幹事 高橋 正樹(NHK takahashi.m.riu@nhk.or.jp)
- 英文論文誌編集幹事 金子 晴彦(東工大 hkaneko@fuji.cs.titech.ac.jp)
- 英文論文誌編集幹事 坪下 幸寛(富士ゼロックス yukihiro.tsuboshita@fujixeroc.co.jp)
- 英文論文誌編集幹事 中谷 多哉子(筑波大 nakatani@gssm.otsuka.tsukuba.ac.jp)
- 英文論文誌編集幹事 篠崎 隆宏(東工大 shinot@ip.titech.ac.jp)
- 英文論文誌編集幹事 森田 裕介(早大 ymorita@waseda.jp)
- 英文論文誌編集幹事 菅 幹生(千葉大 mikio.suga@faculty.chiba-u.jp)
- 英文論文誌編集幹事 須楽 裕樹(宮城大 suguri@myu.ac.jp)
- 英文論文誌編集幹事 泉 知論(立命館大 tizumi@se.ritsumeiji.ac.jp)
- 英文論文誌編集幹事 鹿島 久嗣(東大 kashima@mist.i.u-tokyo.ac.jp)
- 英文論文誌編集幹事 鶴木 祐史(北陸先端大 unoki@jaist.ac.jp)
- 英文論文誌編集幹事 神原 誠之(奈良先端大 kanbara@is.naist.jp)
- 英文論文誌編集幹事 田仲 正弘(NICT mtan@nict.go.jp)
- 英文論文誌編集幹事 石川 彰夫(KDDI 研 ao-ishikawa@kddilabs.jp)
- 英文論文誌編集幹事 井上 康之(電通大 y-inoue@hi.is.uec.ac.jp)
- 英文論文誌編集幹事 森 秀樹(東洋大 mori@toyo.jp)